



**交通**  
**京都府北部への新幹線誘致**  
**山陰新幹線同盟会を設立**

北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会(会長…多々見良三・舞鶴市長)の総会が8月7日、綾部市で行われ、名称を「山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会」に変更しました。

総会には、京都府北部5市2町(舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)の首長と関係者約45人が出席。

## 山陰新幹線同盟会を設立

京都府北部への新幹線誘致

今後、京都府北部地域を経て日本海に至る山陰新幹線の実現と舞鶴線・山陰本線など、在来線の高速化・複線化などアクセスの改善と利便性の向上を目指し、中・長期的な視点での取り組みを行います。

会議では、京都府北部地域が新幹線が通るにふさわしいポテンシャルの高さと重要性を持っていることを踏まえ、同会会長の多々見市長が「北陸から京都府北部、山陰を新幹線ネットワークで結ぶことは、日本海側国土軸の形成と日本海側全体の発展につながります。皆さんと一致団結し、新幹線の誘致と地域に必要な在来線の整備促進に取り組みたい」と訴えました。



《企画政策課》



▲協定書を締結。右から多々見良三・舞鶴市長、山田啓二・京都府知事、岩根茂樹・関西電力株式会社社長



▲協定書に署名する多々見市長(右)と岩根社長(左)

**安全**  
**京都府・舞鶴市・関西電力(株)**  
**大飯発電所安全確保に向けて「協定書」を締結**

8月17日、市は、関西電力株式会社(以下 関電)と「大飯発電所に係る舞鶴地域の安全確保に関する通報連絡等協定書」を締結しました。

この協定の締結は、平成4年の大飯発電所に係る「異常

時の通報連絡の確約から「協定の締結」へ格上げし、通報連絡体制などにおいて、より一層の安全対策の強化が図られたものです。

また、京都府と大飯発電所のUPZ(32.5キロ圏内)に

## 大飯発電所安全確保に向けて「協定書」を締結

位置する5市町(舞鶴市、綾部市、南丹市、京都市、京丹波町)が、「大飯発電所に係る安全確保等に関する確認書」を締結しました。

この確認書では、京都府内の安全を確保するため、情報の提供および地域協議会を設置することにより、原子力防災に関する情報共有と広域連携を図っていきます。

今後、市民の皆さんのさらなる安全・安心の確保に向けて、京都府や関電と協議を進めていきます。

《危機管理 防災課》

## 災害情報をいち早くお知らせ

### Yahoo! 防災速報アプリ本格運用を開始

市では、ヤフー株式会社が提供するアプリ「Yahoo!防災速報」を活用し、地震、津波、豪雨、避難などの緊急情報配信サービスの本格運用を8月10日から始めました。



同アプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードすることで、防災情報がプッシュ通知で届くほか、GPS(全地球測位システム)機能を利用した現在の防災情報も入手できます。

また、最大3地点の情報が入手できるため、離れて暮らす家族が住む地域の防災情報も確認できます。

#### 《配信される情報》

- ◇避難情報◇津波情報◇土砂災害情報◇気象警報◇国民保護情報◇地震情報◇豪雨情報◇河川洪水情報◇熱中症情報◇自治体からの緊急情報◇防犯情報◇火山情報

#### 《ダウンロード方法》

「App Store」か「Google Play」で「Yahoo!防災速報」を検索し、インストール。

▶詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

## 都市計画

### パブリック・コメント手続制度の結果 立地適正化計画(素案)



市では、人口減少・少子高齢化などの社会情勢の変化に対応できるまちづくりの実現に向けて、舞鶴版コンパクトシティを進めるため「舞鶴市立地適正化計画」の策定を進めています。

このたび、市パブリック・コメント手続制度(市民意見提出制度)に基づき、市民の皆さんから同計画(素案)に対する意見を募集した結果、4人から6件の意見の提出がありました(募集期間…

6月23日～7月23日)。寄せられた意見は、意見の趣旨が既に素案に盛り込まれているものが3件、市の考え方を説明し、ご理解いただくものが3件でした。

◆閲覧できます 立地適正化計画(素案)や市パブリックコメント手続制度の結果は、都市計画課、市政情報コーナーで閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▼詳しくは、都市計画課(☎66・1048)へ。



## 港湾

### 港湾情勢の情報交換 舞鶴都市協議会の総会



上:あいさつをする多々見市長  
左:会場の様子



全国147都市で組織される港湾都市協議会の第60回総会が7月20日、商工観光センターで行われ、51市の市長や参議院議員など約130人が参加しました。

同協議会は港湾の管理や財政について調査研究を行うことを目的に組織され、港湾情勢の現状や課題などの意見交換を行っているもの。総会の開催は京都府下で初めて。

当日、開会にあたり多々見市長が「舞鶴は日本海側の国防や海の安全を守る拠点です。この総会を通じて港湾行政の調査・研究などが進むことを期待します」と述べました。

総会では、港のハードとソフト両面の環境整備やアクセス道路の建設、巨大地震等自然災害への防災対策、急増するクルーズ需要に耐える改善策などについて国に要望していくことを決定しました。

《みなと振興・国際交流課》